

放生津だより

ポッポとクック

第 9 号
令和 6 年 1 月 23 日



まとめの学期、3学期が始まりました。

このたびの能登半島地震により、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。地域の皆様の安全確保、そして一日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

新しい年、令和6年がスタートしました。元日の大きな地震に心も癒えないまま、第3学期が始まりましたが、子供たちの笑顔や元気な声に力をもらっています。学校に登校するのを楽しみにしていたよと言ってくれる子供たちもいて、全校の子供たちが、学校では安心して過ごせるよう教職員一同気を引き締めています。始業式の後には、災害時に落ち着いて行動できるよう、避難訓練を思い出し、地震・津波が起きた場合の避難経路を再確認しました。また、登下校時や家に居るときに地震が起こった際に気を付けることを確認しました。各ご家庭でも、いざというときに避難する場所や気を付けること等を話し合い、約束事を決めておいていただきたいと思います。

子供たちは、年の始めや3学期の始めに立てた目標に向け、一生懸命努力しています。放生津小学校の子供たち一人一人が、健やかに成長する一年間になってほしいと心から願っています。今学期も、子供たちの思いを支え、全教職員で力を合わせて取り組んでまいります。今後とも、ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

校内書初大会

一字一字心をこめて書きました



全学年 「書初大会」(1/9)

3学期の始業式後に校内書初大会を行いました。1・2年生は教室で、3～6年生は体育館で行いました。凜とした空間で、これまでの練習の成果を出せるよう、真剣な表情で揮毫しました。

1年生は「みらい」2年生は「たて山」3年生は「正しい心」4年生は「元気な子」5年生は「広い世界」6年生は「春待つ心」と書きました。一画一画を丁寧に心を込めて書く姿に今年への意気込みが感じられました。



ゲストティーチャーを迎えて

5学年 「家庭科：金銭教育」(1/16)

家庭科「物やお金の使い方と買い物」の学習で、富山第一銀行地域貢献グループ（金銭教育担当）の牧野氏を迎え、お金の働きについて理解を深めました。

今の世の中は、目に見えないお金（図書カードやクレジットカード、電子マネー）が増えていることを知りました。見えなくても、お金を使いすぎることのないよう、よく考えて上手に使うことが大切であることに気付きました。



学校教育に関するアンケート結果について(2学期末実施)

2学期末に行わせていただいた「学校教育に関するアンケート」の保護者の結果と児童の結果を報告します。お忙しい中、ご回答いただきましたことに深く感謝いたします。本アンケートの結果やいただいたご意見等を、今学期以降の教育活動に生かしてまいりたいと思います。

4段階評価で、「そう思う」と、「ややそう思う」を選んだ人の割合を%で表しました。

番号	質問内容	保護者結果	児童結果
1	学校は、学校だよりや学年だより、ホームページ等で、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。	98%	—
2	学校は、子供が学校行事(学習参観・運動会・校外学習)等を通して成長することができるよう工夫している。	97%	—
3	学校は、子供のことについて気軽に相談できる雰囲気がある。	85%	—
4	学校は、子供たちに目標や目当てをもたせて粘り強く取り組めるよう、励ましたり声かけをしたりするよう努めている。	92%	—
5	学校は、子供たちのよいところを見つけて認め励ますように努めている。	89%	—
6	お子さんは、学校に行くことを楽しみにしている。	94%	95%
7	お子さんは、学習したことが身に付いている。	86%	93%
⑧	お子さんは、毎日、学年×10分間の家庭学習に取り組んでいる。	70%	85%
⑨	お子さんは、学校や家庭でよく本を読んでいる。	47%	81%
10	お子さんは、自分から明るく元気にい家族や地域の方に挨拶をしている。	82%	93%
11	お子さんは、思いやりのある親切な行いや言葉遣いをしている。	78%	89%
12	お子さんは、家の手伝いをしたり、地域の行事に進んで参加したりしている。	74%	84%
⑬	お子さんは、メディアルールの遵守し、テレビやゲーム、インターネット等のメディアと適切な関わり方をしている。	40%	80%
14	お子さんは、健康な体づくりを目指して運動や遊びに積極的に取り組んでいる。	76%	88%

※改善への方策

⑧ 家庭学習：国語や算数の学習内容を繰り返し復習できるよう声をかけ、基礎的な知識や技能の定着を図ります。また授業において、家庭でも追究を続けたいような課題や学習の展開を工夫し、興味・関心の持続を図ります。家庭学習ノートの使い方についての指導を継続し、自ら進んで学習する内容や時間を調整する力を高めます。

⑨ 読書量：学校では、図書委員会が中心となって「読み聞かせ」や「秋の読書フェス」「あったか親子読書の日」等、読書推進の取り組みを行っています。読書は、知識を得るだけでなく、自分の世界を広げ、豊かな想像力を育むことにもつながる活動です。今後も、子供が興味をもてる本を集め、読み物に触れる機会を設けることを工夫していきたいと思います。

⑬ メディア：学校では、2学期末にネット利用時間を自らコントロールすることや情報モラルの向上を目的に、県警青少年サポートセンターから講師を招き、「ネットトラブル防止教室」を行いました。その中でご家庭でのルールを決める大切さも学びました。既にルールを決められているご家庭もあると思いますが、メディアルールを再確認する機会を設けたいと考えています。ご協力をお願いします。

大谷翔平選手からグローブの贈り物が届きました



大切に使います